

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月			
平成15年度	事業コード		電話	042-769-8202
担当部課名	企画部	文化国際	課	
事務事業名	文化施設維持補修費 南市民ホール			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第6章	彩りある市民文化を創造します	事業開始年度
基本施策名	第1節	多彩な市民文化の振興	14年度
施策名	第1施策	豊かな市民文化の創造	

## 2 実施根拠及び関連法令等

--

## 3 事務の区分

自治事務

## 4 経費の区分

その他の経費

## 5 事務事業の分類

市単独事業

## 6 受益者負担

なし

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
南市民ホールの老朽化した個所を修繕することにより、施設の機能維持を図り、利用者に適切な施設を提供する。	施設利用者(入場者含む)
	対象数 34,800人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
需用費 施設修繕料：2,294,250円 (内訳) ・スタンウェイピアノ修繕：2,294,250円  工事請負費 維持補修工事費：71,190,000円 (内訳) ・舞台照明設備等改修工事：71,190,000円	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
	修繕達成率	修繕実施個所/当初計画修繕個所	修繕達成率により、施設の維持機能が図られていることを表す。	12	13	14	15	16
				100		100		100
活動指標	予算の執行率	100-(修繕決算額/修繕予算額*100)	予算の執行率を指標とすることで経費の削減率を表す。	27		4		5

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	2,637		73,485		18,353
人員・時間数	1人(8H)		1人(16H)		1人(8H)
人件費	34		67		34
その他経費					0
合計	2,671	0	73,552	0	18,387
特定財源	0		0		0
対象数	37,733		34,800		35,000
対象の単位あたり経費	0.1	#DIV/0!	2.1	#DIV/0!	0.5

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
	C：達成していない		・事業目標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
		説明	計画どおりに修繕を行った。						
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている						
	B：一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している						
	C：適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない						
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 施設の機能維持を図り、利用者に適切な施設を提供することは、市民の要望に応えた質の高い芸術・文化の鑑賞機会の充実に寄与している。						
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である						
	B：一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている						
	C：有効ではない		芸術・文化の鑑賞機会を提供する施設の機能維持は、文化行政を推進していくうえで必要不可欠であることから、有効である。						
		説明							
(4)効率性 評価 B ▼	A：優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている						
	B：一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている						
	C：改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている						
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 修繕を行うことにより、施設の機能維持を図るという当初の目標を達成することができたため、効率性は、優れている。						
(5)公平性 評価 A ▼	A：公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である						
	B：一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である						
	C：公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)						
		説明	施設の機能維持を図ることにより、従来と変わらない状態で施設が利用者に提供できている。						
成果向上の余地			事業費削減のために取り得る手段と削減額						
<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> ない	説明： 修繕を行うことにより、施設の機能維持図ることができたという点から、十分な成果が得られたため、成果向上の余地はない。		手段	年度ごとに振り分けられている修繕のうち、類似する設備の修繕を集約することにより、コストの削減が図ることができると思われる。					
			削減額	千円					

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	施設の機能を維持し、利用者に快適な施設を提供するため、必要に応じ修繕を行う必要がある。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--